

記録
35ミリ
カラー／32分
日・英語版

■企画

(財)自然農法国際研
究開発センター

■制作

桜映画社
MOAプロダクシ
ョン

■監修

東京大学名誉教授
農学博士 善本知孝

■指導

栃木県農業試験場
農学博士 木嶋俊男
神奈川県園芸試験場
農学博士 藤原俊六
郎
理化学研究所
農学博士 有江 力

スタッフ

■製作

森山忠彦
村山英世

■脚本・演出

村山正実

■撮影

豊岡定夫

■撮影助手

鈴木博之
森 吉美
今野聖輝

■応援撮影

藤井敏貴
藤崎太佳洋
山屋恵司
中井正義
本橋俊男
沼崎梅子
深沢康雄
伊藤 亨
小林恭治

■照明

■編集

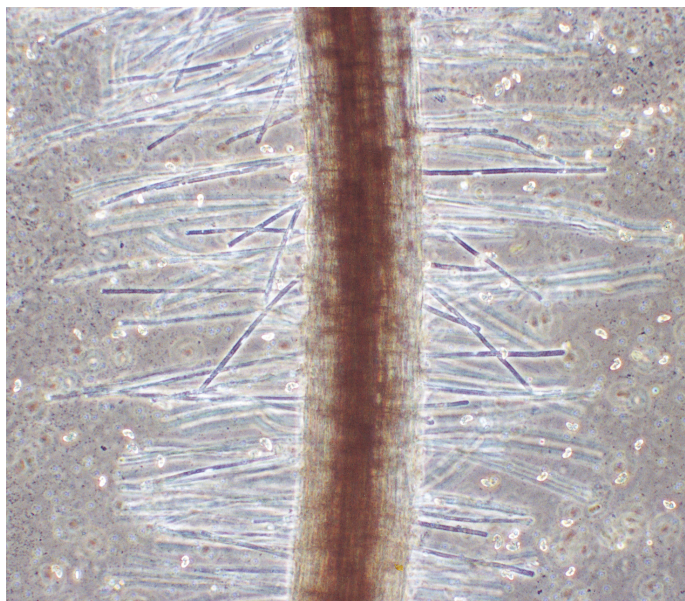
■選曲

■録音

■解説

文部省特選 〔推薦〕農林水産省 日本映画ペンクラブ 第33回科学技術映像祭科学技術庁長官賞 1992年日本産業映画・ビデオコンクール奨励賞 1992年教育映画祭優秀作品賞 1992年キネマ旬報文化映画ベスト・テン第6位

今日、私たちを取り巻く食べ物の安全性に対する不安は、増えつつあり、一方、現代農業の在り方が地球的な規模の環境問題を引き起こしつつある。映画は、健康な土が持つ複雑、多面的な機能や構造と、病んで生命を養うことのできない土壌を対比して見せていく。そして、ふだんは見ることのできない土の世界をミクロの視点で映像によって興味深く描いている。



植物を養い、ひいては生命の源というべき食べ物の生産の基礎になっている土。その土の持つ豊かさを、森の土の成り立ちから見ていこう。有機物に富んだ土は、柔らかく隙間のある構造になっている。森の土にならって、畑にも落葉や堆肥がすきこまれると、微生物の働きによって土は豊かになっていく。

では、土の中の、根の世界では何が行なわれているのだろうか。根の周辺には、カビやバクテリアなどの微生物がたくさん集まっている。これらの微生物は、互いに養分を取り合いながら闘い、しかも共存していることがわかる。また、農薬を使わずに、混植栽培などによって病原菌の増殖をおさえ、微生物を自然にひきよせ、病害を防ぐ仕組みもミクロ映像によって明らかになっていく。単なる従来の農法への復古ではなく、自然の仕組みを利用した、高い生産性をもった安全な土づくりの方法が描かれている。